

事業報告書

(2025年4月1日～2026年3月31日)

学校法人創造社学園

創造社デザイン専門学校

一. 学園の概要

1. 法人所在地 学校法人 創造社学園

〒550-0002 大阪市西区江戸堀1丁目25番15号

TEL 06-6459-6211 FAX 06-6459-6212 Website www.sozosha.ac.jp

2. 沿革

- 1967年 10月 (昭42) 創立 (大阪デザインスクール設立・於サウキ会館)
- 1980年 3月 (昭55) 校舎新築・移転 (大阪市北区芝田2-5-1)
創造社デザイン専門学校に校名変更 (専修学校認可)
- 1981年 7月 (昭56) 学校法人創造社学園 認可
- 1982年 4月 (昭57) 「オンリーワン宣言」 発表
- 1986年 3月 (昭61) 校舎新築・移転 (芝田町 → 大阪市福島区福島6-25-23)
- * 1987年 10月 (昭62) 創立20周年、コンピューターによる就職支援システム導入
- 1990年 7月 (平2) 創造社アップルトレーニングセンター (SATC) 開所 (西日本初)
- 1993年 9月 (平5) 国際学生ワークショップ開始
専門学校飛騨国際工芸学園を設置 (学校法人清見学園を吸収合併により継承)
▽専門学校飛騨国際工芸学園 (HIDA INTERNATIONAL SCHOOL OF CRAFT&DESIGN)
所在地: 〒506-0812 岐阜県高山市漆垣内町3180番
設立: 1987年12月14日 (昭62)、(開学日: 1988年4月4日 (昭63))
- 1995年 4月 (平7) 別館校舎を建設
専門士 (称号) 制度適用校指定
インターネット専用回線敷設
ATC梅田 (SATCを改称) として運営開始
- * 1997年 4月 (平9) 創立30周年 (10月)、学内LANの完成、ホームページ供用開始
- 1998年 4月 (平10) 進路指導強化、ナビゲーションセンターを設置
CCU、サイバーカレッジ梅田 (ATC梅田を改称) として改組運営
- 1999年 4月 (平11) デジタル工房とアナログ工房に工房施設再編拡充
CCUが雇用能力開発機構 (現独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構) の受託事業開始
- 2001年 4月 (平13) 集中授業システム及び学外履修制度 (振替履修) の導入
- 2004年 4月 (平16) 就職総合支援WEBサイト「JOB ON DEMAND」運用開始、ビジネス創造・産学共同開発「夢工房」事業開始一文部科学省受託事業 (2件)
- 2005年 4月 (平17) 「独立起業支援サイト飛騨家具.com」運用開始一文部科学省受託事業 (高山校)
- 2006年 4月 (平18) 「就業支援サイトデュアルネット」運用開始一文部科学省受託事業
「地域人材育成事業」開始一文部科学省受託事業 (高山校)
- 2007年 4月 (平19) 「WEBサイトデザインスクール」運用開始一文部科学省受託事業
「WEBサイト木の大学.com」開始一文部科学省受託事業 (高山校)
- * 2007年 10月 創立40周年
- 2008年 3月 (平20) 別館校舎を廃止、本館全面リニューアル
4月 新教育課程の科目・専攻を拡充 (ウェブ専攻新設、プロダクト専攻夜間部新設)
「ジョブ・コンシェルジュ」・「デザイン・カウソル」WEBサイト運用開始一文部科学省受託事業

	8月	(高山校) 2009年度(平21)より新入生募集停止決定
2010年	3月(平22)	(高山校) 第21期生卒業(同年4月高山校休校)
2011年	4月(平23)	「工業製品表面性状管理者養成カリキュラム」運用体制構築—文部科学省補助事業
	9月	生涯学習事業部の新体制構築—リカレントスクール大阪校(サイバーカレッジ梅田を改称)
2012年	3月(平24)	リカレントスクール三宮校開設(同年度訓練事業開始)
	4月	専門課程2年制全学科に産学接続デュアルコース(企業実習)を設置、コースを拡充
2013年	3月(平25)	専門学校飛騨国際工芸学園(高山校)の廃止(同年3月25日認可)
2014年	2月(平26)	ISO29990 認証登録 :「創造社デザイン専門学校」、「創造社リカレントスクール」の2校
	4月	「職業実践専門課程」 (昼夜間専門士4学科)文部科学大臣認定受けスタート
	9月	「専門実践教育訓練給付金」指定講座として厚生労働大臣の指定を受ける
2015年	4月(平27)	学科名称変更:d. school、i. schoolを冠した学科名称に変更
2016年	4月(平28)	学科をi. school(昼間部)、d. school(夜間部)に再編し変更
		応用研究科をi. school 応用研究科として4年制課程へ改組
	9月	株式会社キャリアプログラム設立(就業支援)
2017年	3月(平29)	「質保証取組マーク」では、厚生労働省が定めるサービスガイドライン基準を満たしている」と認定され、創造社リカレントスクール(大阪校・三宮校)にマーク付与される
2017年	8月(平29)	西区江戸堀に新校舎の土地建物購入
		★新校舎所在地:大阪市西区江戸堀1丁目25番15号、建物 地下2階付8階建
		8月:大阪府 校地校舎変更届提出、9月:学校用途変更確認済証受領
*	2017年 10月	創立50周年(10月23日)
2018年	4月(平30)	大阪府離職者等再就職訓練事業・長期高度人材育成コース(期間2年) 受託開始
		受託2コース(情報セキュリティ管理者資格コース、ビジュアルデザイン・クリエイターコース)
2019年	2月(平31)	学事システム(キャンパスプラン)クラウド化
	4月	西区江戸堀新校舎に福島から移転、新校舎全面オープン
		学則変更:学科設置(昼間部2学科)、学科名称・定員変更、教科課程表変更等
	11月	リカレントスクール・ホームページリニューアル
2020年	3月(令2)	「職業訓練サービスガイドライン適合事業所認定」 :創造社リカレントスクール大阪校、三宮校ともに認証を受ける(厚生労働省が定めるサービスガイドライン基準に基づく適合審査に合格/この時点で、全国40校、関西8校)
	4月	新型コロナ感染拡大する。緊急事態宣言発出(4/10~5/23 一時休校措置)
2021年	3月(令3)	「プライマシーマーク」 付与適格認定を学園が受ける
	8月~10月	新型コロナワクチン職域接種を本館にて実施(第1回・第2回接種)
2022年	4月(令4)	創造社リカレントスクール三宮校の訓練事業を(株)キャリアプログラムに事業譲渡
2023年	1月(令5)	学則変更(一部学科廃止)、校舎変更の届出
	4月	創造社リカレントスクール大阪校の訓練事業を(株)キャリアプログラムに事業譲渡
	5月	コロナ感染対策解除(5類感染症に移行)
	7月	学校長変更(明上学校長から中前新学校長に変更)
	9月	理事長変更(明上理事長から松村新理事長に変更)
2024年	12月(令6)	私学法改正による寄附行為変更認可申請(大阪府):2025年4月開始
2025年	6月(令7)	理事・監事・評議員の変更、定時評議員会にて新役員等を選任
		理事長変更(松村理事長から林新理事長に変更)
2026年	4月(令8)	学則変更(単位数・事業時間数、入学資格、卒業・専門士、自己点検・評価の変更)

3. 「創造社」理念

自らの人生を創り出していく者の集い
創造することに喜びを見出していく者の集い

4. 設置する学校等

【創造社デザイン専門学校】（SOZOSHA COLLEGE OF DESIGN）

創 立 1967年10月23日（昭42）
課 程 デザイン専門課程
所 在 地 〒550-0002 大阪市西区江戸堀1丁目25番15号
学 校 長 中前 寛文
TEL 06-6459-6221 FAX 06-6459-6222

別科職業訓練

大阪府公共職業訓練コース（デジタル人材育成）
長期高度人材育成コース（長期訓練）

5. 役 員 （2025年6月30日現在）

理事長 林 健児
理 事 中前 寛文、酒寄 基、渡邊 達也、松下 隼人、伊東 正美
監 事 大野 稔起、降旗 智子
評議員 松村 眞吾、上野 リサ、根本 仙弥、前車 湧斗、杉野 大輔、
秋山 卓也、須藤 大輔

6. 教職員 （2025年5月1日現在）

【創造社デザイン専門学校】 教 員（学校長含む）52名
【学校法人 創造社学園】 職 員 15名 校 医 1名
合 計 68名

7. 取引金融機関

関西みらい銀行 梅田中央支店、池田泉州銀行 本店営業部、ゆうちょ銀行、
三菱UFJ銀行 大阪駅前支店

8. 主要取引先

大塚商会、関西エンジニアリング、神田通信機、くろがね工作所、コ・コラウエスト、
㈱サキユレーション、J Sコーポレーション、システムディ、セコム、高松テクノサービス、
T o o、ディスコ、日本トリコム、富士製版印刷、富士フィルムビジネスインバーシヨジヤパン、
マイナビ、三菱総研DCS、リクルート

9. 主要関係団体

大阪府産業デザインセンター、大阪市企業人権推進協議会、おおさか人材雇用開発人権センター、
大阪商工会議所、(社)私学経営研究会、俵法律事務所、(社)総合デザイナー協会、
(公益社)日本インターストリアルデザイナー協会、(社)日本インテリアデザイナー協会、(社)日本空間デザイナー協会、
(社)日本グラフィックデザイナー協会、りそな総合研究所、

10. 設置課程・制度・定員等（2025年度）

(1) 創造社デザイン専門学校

課程	部	学 科	就業年数	入学定員	総定員
デザイン専門課程	昼間部	※ コト・モノづくり学科	2年制	20名	40名
		※ ICTデザイン・マーケティング学科	2年制	20名	40名
		小 計		40名	80名
		デザイン学科	2年制	20名	40名
		小 計		20名	40名
	夜間部	※ コト・モノづくり学科	2年制	20名	40名
		※ ICTデザイン・マーケティング学科	2年制	20名	40名
		小 計		40名	80名
		デザイン学科	2年制	20名	40名
		小 計		20名	40名
合 計				120名	240名

注 記	昼・夜間部	<p>※印4学科は「<u>職業実践専門課程</u>」として文部科学大臣の認定。</p> <p>※印4学科は「<u>専門実践教育訓練給付</u>」制度の指定講座として厚生労働大臣の指定。</p>
-----	-------	--

(2) 別科職業訓練

デザイン分野を主として、デジタル技能訓練等の職業能力修得を支援する生涯学習・職業訓練

	コ ー ス	期 間	定 員	開講数
職 業 訓 練	大阪府公共職業訓練 デジタルマーケティング科	6ヶ月	30名	2講座
	大阪府公共職業訓練 デザインAI科	5ヶ月	20名	1講座
	大阪府公共職業訓練 Python AI科	6ヶ月	20名	1講座
	長期高度人材育成コース（長期訓練） デジタルマーケティング & デザイン思考実践科	24ヶ月	(2年次) 10名	1講座
	合 計			5講座

二. 事業の概要 (2025年4月1日～2026年3月31日)

1. 事業の実施状況

【コンパクトな学校づくり】

今後起こりうる社会の変化に負けない進化し続ける学校を体現すべく、持続可能でコンパクトな経営に努め、組織の壁を超えて多様な知恵の集積による統合力で学校の価値を高めてまいりました。

2025年度は入学定員に対して充足率50%超を計画とし、それらを達成する為の情報発信とその情報提供の仕組みづくり、組織改革が重要方針でありました。前年度において蓄積した広報展開する為のデータやエビデンスを如何に活用し学生募集に繋げられるかが重点施策で、WEBマーケティングやSNSマーケティングを軸に、学ぶ価値、共感づくり、運営組織改革にフォーカスし、学生募集事業・教育事業・収入源確保を展開してまいりました。その結果、微増ながら入学者数の増加という結果となりました。

今後も持続的な収益力強化に努めると共に、学校の発信力強化の為にWEB、SNSなどネットマーケティングを重視し、外部を含めた多様な組織且つ迅速なアプローチを展開してまいります。専門課程におきましては、メッセージ力の源泉となる教育の質を高めるとともに、時代により適合した学科内容を編成し、コンパクトでクリエイティブ、学びやすい学校を目指します。そして学園の評価と競争力を強化していきます。

【創造社デザイン専門学校】

(1) 学生の募集と受け入れ

1) 学生募集活動は、適正に行われているか

学校広報活動において、その出稿内容や説明表現については、担当がISO29993及びPマーク規準に基づき、真実性、明瞭性、法令遵守等について十分な配慮を行っています。また「入学後のミスマッチ」を防ぐために学校見学会や相談会を多く開催(本校並びにオンライン)して複数回参加してもらい、学びについて理解を深めてもらうことを強く推奨しています。

このほかAO入学の面接時には、教育の専門スタッフを充てるなどにより、客観的な見立てを個人別に行い、入学後の指導、卒業後のキャリアパスへと繋げて行きます。

2) 学生募集において教育成果は適正に伝えられているか

就職実績や公募展入賞等の教育成果は、学校パンフレット等に掲載するほか、適宜ウェブサイトで公表しています。学校説明会では、入学志願者の参考になる情報提供(教育目標・授業運営方針、仕上がり像、就職状況・入学～卒業後の就職支援)という観点から、教育部門/AOセクションのスタッフが直接説明に当たり、正確で新しい情報を伝えています。在学生の学習活動は、即時性が高いソーシャルメディアを用いて、清新な情報を発信できるように努めています。

近年は、スマートフォンやタブレット端末を使ったホームページ閲覧が増加していることから、そのための技術対応(LINE個別相談・遠隔ZOOM相談他)を行っ

ています。また、社会人等の学び直し対象には、キャリアプラン相談会・専門実践訓練給付説明会なども実施しております。

3) 入学選考は、適正かつ公正な基準に基づき行われているか

入学選考はすべて募集要項に定められた日程と方法により適正に実施しています。選考基準は入学願書に記載された入学志望動機、調査書・成績証明書の内容などにより、本校教育内容への理解、将来目標、熱意を主眼に判定しています。AO入学では募集要項に表明するアドミッションポリシーが基本的な選考基準となります。

また、個人の能力を計り、特技を評価する様々なAO選抜も導入し、入学者の質の向上を図っております。

4) 学納金は妥当なものとなっているか

社会経済状況、学費の家計負担軽減を考慮・検討して見直しを行っております。関西エリア同分野校の学費状況のほか、東京都専修学校各種学校協会の専門学校学費データを参考に比較すると、本校学費は他校平均より安価となっており、妥当性は高いと判断されます。なお、本校独自の就学支援策として、奨学給付金制・AO特待制度(学費充当型)、PC購入サポートを運用して支援普及に努めています。

(2) 職業意識の醸成を目的とした事業の実施

1) キャリアプログラム … 自己の目標の職に就くため

2025年度卒業生の就職率は、卒業後一ヶ月時点で74%、三ヶ月で約89%の見込みです。内、デザイン関連業種への就業率も88%の見込みです。これら就職率向上の実現に向けては、キャリアプログラム授業(自己デザイン・ポートフォリオ制作)の導入や入学時から就業に至るキャリアコンによるキャリアパスの提示など、一貫したプログラムを実施して成果を上げています。又、卒業後10年間サポートする「10年伴走プログラム」を実施し就業先のキャリアアップに繋げています。

2) 「企業実習(インターンシップ)」の全学科必修化 … ミスマッチを防ぐ

社会との繋がりを知り、現場でのデザイン実務により気づきをもたらす目的で、職業実践専門課程においては全て必修とし、該当学科全ての学生が受講できるようになっています。特徴的なことは、1年次・2年次と2回の企業で行う実研修(年間140時間×2)を組み込んだ教科課程により、本校との連携企業数・求人企業数の増加と、就職時のミスマッチの改善に効果を出しています。

3) 「企業課題(企業クライアント制)」の実施 … ビジネス感覚の醸成

実際のリアルな企業案件をデザインによって解決するプログラムを全学科(年間18社クライアント)に取り入れています。これらの導入に伴い、クライアントや消費者のインサイトを引き出す力やビジネスでの0か1かの採択の厳しさを知り、就業後の実務への即践力人材として、企業実習先や求人企業先から好評を得ています。

(3) 職業教育力の発揮を目的とした事業の実施

- 1) 「職業実践専門課程(4学科)」が「**専門実践教育訓練給付金**」指定講座として厚生労働大臣の認定(2023年10月~2026年9月)を受けています。これらの認定に加え社会人の再教育として今後も教育開発を行っていきます。

尚、2025年度「専門実践教育訓練給付金」を受ける学生(社会人2年以上の勤務実績者9人)が学んでいます。

2) 社会貢献・産学協同事業

「職業教育力の発揮」を目的に、外部企業とコラボレーション(企業クライアント制)による企画・実施を行っています。学生の学習を社会とつなぐことで成果のレベルや意欲の向上を図るとともに、社会・地域への貢献につながると身をもって自覚できるよう積極的に取り組んでいます。多くのプロジェクト(下記)に取り組み、それぞれの目的に役立つデザイン提案・制作を実施し成果を挙げました。

また、SDGs課題も企業連携して積極的に取り組んでおります。

- ① 「北尾化粧品部」肌と美と健康のデザイン開発…実施期間…実施期間：2025年4月
◆デザイン再開発、タグライン、カードデザイン、フライヤー提案
- ② 「Seiko's Jpn Kitchen」ポーランドの和食事業VI開発…実施期間：2025年4月
◆ロゴ・マーク、タグライン、名刺、リーフレット等の提案
- ③ 「株式会社一步」道具・日用生活用品の開発…実施期間：2025年6月
◆玩具・遊具・日用生活用品の開発に伴う模型・パネルの提案
- ④ 「STUDIO Q」音響・映像スタジオのブランディング…実施期間：2025年7月
◆映像と音のデザイン開発。ツールデザイン、名刺デザイン等を提案
- ⑤ 「(株)福永工務店」再開発デザインのブランド化…実施期間：2025年7月
◆デザイン再開発、タグライン、カードデザイン、フライヤー提案
- ⑥ 「韮公園リアルイベント」お面クエストの実施…実施期間：2025年8月
◆韮公園の許可を得て、公園内での地域密着の体験型イベントの実施
- ⑦ 「BUSAKAWAMON.fe」展示販売する犬猫雑貨の提案…実施期間：2025年10月
◆消費者に販売する、安全性・耐久性等を考慮したイラスト・雑貨等の商品提案
- ⑧ 「(有) ビートテック」特殊技術刺繍の商品開発…実施期間：2025年10月
◆企画書+商品化デザイン、コンセプト、表現案をA4で提案
- ⑨ 「Osaka Metoro」肥後橋活性ポスター提案…実施期間：2025年10月
◆肥後橋活性推進プロジェクトに伴うポスターの提案
- ⑩ 「日本テイストのスイーツ提案」…実施期間：2025年11月
◆パッケージ、ビジュアル表示、ネーミング等の提案

- ⑪ 「NPO 法人日越支援会」 優しいコミュニケーションデザイン提案…実施期間：2025 年 11 月
◆クライアント企業のシンボル、活動支援ツール等の提案
- ⑫ 「堺プロジェクト」新商品開発提案…実施期間：2025 年 11 月
◆指定素材を使用した、商品開発及び SP 提案
- ⑬ 「一般社団法人健康栄養支援センター」パンフレット提案…実施期間：2025 年 12 月
◆事業紹介用パンフレット（A3 サイズ 2 つ折り）の提案
- ⑭ 「ユリナオリーブ」阪急 2026 年お中元 堺ブランド確立…実施期間：2025 年 12 月
◆バージンオイルラベルデザイン、同梱ツール、フライヤー等の提案
- ⑮ 「ゆらぎドゥ」商品開発…実施期間：2026 年 2 月
◆西成の雑貨店。T シャツ、ポーチ、トートバッグデザインの提案
- ⑯ 「有限会社不二製作所」断熱製品、保温容器のデザイン提案…実施期間：2026 年 2 月
◆インテリア、アウトドアで利用できる上記デザイン提案

（4）教育環境の向上を目的とした事業の実施

- 1) 2014 年 2 月から「ISO29990」認証を、多くの他校に先駆けて取得しています。
2020 年（令 2）年度には、「ISO29990」の改廃に伴い、後継規格「ISO29993」認証取得し、2025 年 6 月に定期審査もパスし認証を継続。今後も ISO29993 の諸活動として、学習サービス業務の「PDCA、見える化」の強化とコンパクトな運営を図り、学習サービスの質向上と継続的な改善、及び信頼性向上に努めてまいります。
- 2) また、個人情報適切に管理し、教育指導に繋げていく目的で、2021 年 3 月に「P マーク」も取得し、2025 年 10 月に定期更新をしました。
- 3) チーム制カウンセリングの実施 … ワンストップ型クラス担当チーム制度
今年度は、クラス担任（指導統括者）の下に担当講師・就職支援担当者・キャリアコンサルタントのチームでワンストップ型の就職支援を行いました。運用は、チャットワークを使った本科生や別科生へのタイムリーな指導プロセスを共有化し、学習指導や就職指導に活かしていく。又、学生の様々な課題に対して月 1 回のカンファレンスを実施し個々の処方箋をつくり、学生への指導へフィードバックを行い、就職指導の PDCA を回しています。特に「多角的な視点から問題解決」「知恵の結集による確度の高い個々の処方箋の提供」を目的として実施しました。

（5）その他特記事項

- 1) 2025 年度 展覧会展の開催
 - 8 月 「ポートフォリオ展」 … 創造社デザイン専門学校（大阪市西区）
 - 11 月 「瀬戸内デザイングランプリ 2025 入賞・入選作品展」
… 創造社デザイン専門学校（大阪市西区）
 - 12 月 「Zine & Design Market」… 創造社デザイン専門学校（大阪市西区）
 - 3 月 「進級卒業作品展・公開プレゼンテーション会」

2) 国際学生 WS2026 の実施 (参加国: フランス、マレーシア、日本) 7月~8月

実施テーマ:

『韮公園 東園におけるデザインワークショップの作品展示及び参加型イベントの実施』

韮公園東園の「遊具広場の東側木立部」および「広場の南側並木部」における主に近隣の子供達に向けた遊び(3箇所の身体を使ったゲームをしながら個々にお面を作る参加型イベント)を提案・実施しました。

3箇所のゲームをクリアすると、それぞれ1. 目 2. 口/耳 3. 鼻 の手のひらサイズのパーツが手渡され、お面に取り付けて、自分独自のオンリーワンお面を完成させることができ、出来上がったお面はお土産としてお持ち帰りいただきました。

それぞれのゲームでは、本校学生もしくは講師が、参加者の誘導とゲーム説明、各パーツの手渡し、イベント開催中の安全確認を行いました。

当日は12:00~18:00頃迄実施し、約40名程度の参加者(子供・親御さん)にイベントを楽しんでいただきました。

(6) 厚生労働省委託職業訓練

① 中期訓練コース

2025年度デジタル人材育成関連コースの公募に対して、本課程と社会ニーズをベースとしたデジタル人材プログラムを申請した結果、以下の4講座が採択され、いずれも定員を超える応募があり、定員通りの受講者で実施しております。

- ・「デジタルマーケティング科(6月開講)」6カ月 6月開講 定員 30/30名
- ・「デジタルマーケティング科(1月開講)」6カ月 6月開講 定員 30/30名
- ・「Python AI 実践科」6カ月 1月開講 定員 20/20名
- ・「デザイン AI 実践科」5カ月 11月開講定員 20/20名

以上